

5 月度個人 山 行 報 告 書			報告者	竹内	参加 メンバー	CL 竹内 塚本:
			報告日	6/11		
山 域		山行日	03 年 5 月 22 日 (木) ~			
山 名	剣山、三嶺、石鎚山		03 年 5 月 24 日 (土)			

山行目的	百名山を登る	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会 担当者	

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

5/22	晴れ時々曇り
8:35	見ノ越
9:25	西島
10:40	剣山
12:40	丸石頂上
13:05	丸石小屋
14:12	高ノ瀬
16:40	白髪避難小屋
5/23	晴れ
4:55	白髪避難小屋
6:47	三嶺 (1893 m)
8:50	登山口
9:20	車 (P)

5/24	晴れ
7:40	下谷 (ロープウェイ)
7:50	山頂成就
9:20	夜明峠
10:25	弥山
10:45	天狗岳
12:55	成就
13:20	山頂成就
13:30	登山口

山行報告 前夜、刈谷を車で 20 時出発、和歌山港に 23 時 08 分到着。00:40 発のフェリーに乗って 2:40 徳島港着、仮眠をして 5 時出発、見ノ越に 6:55 着。車を下山場所の名頃に置いて来て、出発する。緩やかな登山道を歩いていくとやがてブナ林が見えてくる。にしじまから 40 分ほど歩いた所で名水の湧き出る御神水を汲んで剣山に向かう。出発から 2 時間程で頂上に着いた。平日でも何組ものパーティが登ってくる。頂上からの景色は良い。しばらく休憩した後出発する。ここから丸石小屋まで 2 ピッチである。登山道も整備されていて歩きやすい。途中丸石から剣山を振り返るといい景色であった。ところが、ここを過ぎて高ノ瀬、白髪避難小屋までは笹深いところが多くあり、まだ整備されてないところもありひたすら歩くだけである。白髪小屋に着いたのが 16 時 40 分であった。夕食を食べ早めに寝た。翌朝は 4:55 出発整備された登山道を進んでいく。三嶺の頂上直下は急坂で鎖がついている。そこを一気に登ると頂上である。景色はよく、昨日歩いてきた山を見ながら良い山だなと思った。ここからは下りの連続である。笹原の急坂を下りていくとやがて景色は樹林帯になる。頂上から 2 時間半ほどで車の

置いてある駐車場に到着した。ここから明日登る石鎚山の麓まで移動した。途中そば道場というそば屋でざるそばを食べ、観光で有名な大歩危、小歩危を見学しながら移動した。



剣山

確認 (リーダー)	
(報告者)	竹
	03/06/10
	内

リーダー所見 剣山のピストンだけなら短い時間で登ることができるが、今回は縦走コースということもあって、小屋に泊まることになったが、山行としては、長い時間歩くことができ楽しい山行となった。

5 月度個人 山 行 報 告 書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL 竹内 塚本:
		報告日	6/11		
山 域		山行日	03 年 5 月 22 日 (木) ~		
山 名	剣山、三嶺、石鎚山		03 年 5 月 24 日 (土)		
山行目的	百名山を登る		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

5/22	晴れ時々曇り	5/24	晴れ
8:35	見ノ越	7:40	下谷 (ロープウェイ)
9:25	西島	7:50	山頂成就
10:40	剣山	9:20	夜明峠
12:40	丸石頂上	10:25	弥山
13:05	丸石小屋	10:45	天狗岳
14:12	高ノ瀬	12:55	成就
16:40	白髪避難小屋	13:20	山頂成就 (ロープウェイ)
5/23	晴れ	13:30	下谷
4:55	白髪避難小屋		
6:47	三嶺 (1893 m)		
8:50	登山口		
9:20	車 (P)		

山行報告 前日に石鎚山の麓にある下谷に移動した。車は土産物屋の駐車場に止めさせてもらった。夕飯は途中で買ってきたものを食べた。翌朝 7:40 のロープウェイに乗って山頂成就まで移動した。ここからは緩やかな登りを歩いていく。登山道は人で賑やかである。近くには石鎚中宮社と旅館が建っている。ここから先はブナやミズナラの原生林の中を歩いていく。やがて一の鎖、二の鎖がでてきた。かなりの急勾配の中を鎖場になっていた。鎖は大きくてしっかりしているが、慎重に登っていく。三の鎖まであってこの長い鎖場を過ぎると石鎚神社に到着である。弥山から目と鼻の先に天狗岳がそびえる。天狗岳まで行って休憩していたら雲が出てきて肌寒さを感じた為、下山することにした。下りは鎖場は降りずに迂回路を降りていくことにした。勾配が急なため下山は迂回路をとるのが一般的なようです。山頂成就からはロープウェイに乗って標高差 1000 m を景色を楽しみながら一気に降りてしまった。下谷に降りた後、すぐ近くに温泉があるのでそこで汗を流して今回の山行を終えた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認
(リーダー)

リーダー所見 天気の良い中で登ることができた。途中長い鎖場があったが石鎚らしさを感じた。天狗岳がそびえたっているのが印象的であった。

(報告者)
竹
03/06/10
内